^{クラウド型Emailゲートウェイセキュリティサービス Email Security R2 あんしんプラス 導入手順マニュアル}

Version 1.0

日本事務器株式会社

改版履歴

Version	日付	変更内容
1.0	2020/07/17	新規作成

目次

<u>1.はじめに</u>

<u>2.導入の流れ</u>

<u>3.設定</u>

- <u>3.1. ログイン</u>
- <u>3.2. ライセンス契約の同意</u>
- <u>3.3. 2要素認証設定</u>
- 3.4. 設定ウィザードによる設定
- <u>3.5. DNSへTXTレコードの設定</u>
- 3.6. 受信保護設定
- <u>3.7. 送信保護設定</u>
- <u>3.8. 隔離設定</u>
- 3.9. テストメッセージの送信
- 4.ファイアウォールの設定変更

<u>5.DNSの設定変更</u>

<u>5.1. MXレコードの設定</u>

5.2. SPFレコードの変更・追記(送信保護を有効にする場合)

【参考】DNSの設定変更

MXレコードの変更(Windows Server2012 R2の場合)

SPFレコードの変更・追記(送信メールを有効にする場合)

<u>6.動作確認</u>

- <u>6.1. ステータスの確認</u> 6.2. 受信テスト
- 6.3. 送信テスト

1.はじめに

本マニュアルは、Email Security R2 あんしんプラス(以下「ES R2 あんしんプラス」と称す)」の導入手順 マニュアルです。 導入までの手順について説明いたします。

2.導入の流れ



3.設定

3.1. ログイン

ライセンス発行完了のメールを<u>etmcm@njc.co.jp</u>より受信します。

🔄 ☆ 🕞 etmcm@njc.co.jp 🛛 🛛 😌 🔄 受信トレイ [通知] あんしんプラス ライセンス登録完了のお知らせ

メールに記載されているURLへアクセスし、アカウントとパスワードを入力してログイン してください。

	登録情報を入力してください
ALCEN	770521-1
	パスワード:
◎サポート受付時間:平日9:00~17:30	パスワードのリセットリバスワードをお忘れの
◆ユーザーズガイドは、以下URLよりダウンロードしてください。 http://usersguide.anshinplus.jp/	□ アカウント名を記憶する
「ウイルスバスタービジネスセキュリティサービスあんしんブラス ユーザーズガイド」をクリック します。	口万不少

※他あんしんプラスサービス(VBBSSやCloud Edgeなど)を既に導入している場合 →アカウントとパスワードは同じになります。

※ES R2 あんしんプラス以外にあんしんプラス製品を導入していない場合

→アカウント登録完了のメールよりログインID(アカウント)を確認してパスワードの 発行をおこないます。



ログイン完了後、Email Security R2 あんしんプラスの「コンソールを開く」をクリックします。

						ようこそ:
らの製品/サービス ユーザ登録情報 ヘルプ ▼						
みの製品/サービス						
TEST】SSDA1ヶ月のライセンスの有効期限は終了しています。						
-ወ入力						
ナービスプラン名	製品/サービス	 シート/ユニット ⇒ 	ライセンス種別 ⇒	開始日 ⇒	有効期限 🔻	アクション
Cloud Edge あんしんプラス100	Cloud Edge 100	2シート	製品版	2016/03/30	自動更新	□ コンソールを開く
Cloud Edge あんしんプラス50	Cloud Edge 50 前泳	2シート	製品版	2015/10/09	自動更新	▶ コンソールを開く
ISSLあんしんプラス スタンダード	Client/Server Suite Basic Pack	5 シート	製品版	2012/06/01	自動更新	
mail Securityあんしんプラス スタンダード	HES 🚯	10 シート	製品版	2017/02/20	自動更新	▶ コンソールを開く
SURのんしんノフス	▶ Deep Security Advance (3 コンホーネント)	505	裂面版	2014/08/01	目動更新	
/BBSSあんしんプラス スタンダード managed	ウイルスハ スター ビ ジ ネスセキュリティサービ ス 前回	40 シート	製品版	2011/04/05	自動更新	▶ コンソールを開く
【TEST】 SSDA1ヶ月	▶ Deep Security Advance (3 コンポーネント)	1 OS	製品版	2018/04/05	2018/05/04	
	みの設計/サービス EST] SSDA1ヶ月のライセンスの有効開限は終了しています。 の入力ビスプラン名 の ioud Edge あんしんプラス100	みの製品/サービス EST] SSDA1ヶ月のライセンスの有効開發は終了しています。 の入力 ビスプラン名 ②製品/サービス ビスプラン名 ②製品/サービス ビスプラン名 ②製品/サービス 	A の製品/サービス EST] SSDA1ヶ月のライセンスの有効開限は終了しています。 OXJ ビスプラン名 ② 製品/サービス ③ シート/ユーット ④ ioud Edge あんしんプラス100 ① OLod Edge 100 節 ② シート ioud Edge あんしんプラス50 ① Cloud Edge 50 節 ② 2 シート SSLあんしんプラス スタンダード Client/Server Suite Basic Pack 2 シート Client/Server Suite Basic Pack 5 シート mail Security あんしんプラス スタンダード HES 節 10 シート SUSA かんしんプラス スタンダード managed 743x ¹ X ² ビゲ Xith II/f + ¹ X 節 40 シート ITEST] SSDA1ヶ月 105	Age Read Print Prix Read Read Read Read Read Read Read Read	An RRAD FY FL X EST] SSDA14月0974センス0有効期限は終了しています。 SATA	An Wath yr L X Explose Jack Jack Jack Jack Jack Jack Jack Jack

3.2. ライセンス契約の同意

ライセンス契約に同意

3.3. 2要素認証設定

2要素認証により管理者のサブアカウントのセキュリティが強化され、パスワードが盗まれた場合で もTrend Micro Email Security管理コンソールへの不正アクセスが防止されます。 必要に応じて設定をします。

・2要素認証を設定する場合は「2要素認証を行う」をクリックします。

2要素認証を設定しない場合は「危険性を理解した上で、スキップします」をクリックして、
 次の設定ウィザードに進んでください。

(ここでスキップしても後から2要素認証の設定はできます)

▲ セキュリティをさらに強化 サイパー把罪が高度化するにつれて、不正アクセスからイ トアカウントを保護するにはパスワード保護だけでは不十 あります。アカウントを通りに保護するために、2要素認証 に有効にすることを強く推奨します。	ンターネッ 分な場合が そをただち
2 要素認証とは 2要素認証により、モリドイルデバイスを使ってアガウントへのサインイ ン時に本人確認を行うことが可能になります。2要素認証によりセキュ リティが強化され、パスワードが溜まれた場合でも、不正アクセスを 防ぐことができます。 [FM	27年素認証が低意な理由 サイバー記書者によって本アカウントに不正アクセスされた場合、本 コンソールからアクセス可能なトレンドマイクロ製品の保護をすべて オフにされる恐れがあります。それにより個メデータ、企業4485. 編 行情報への不正アクセスや、盗用、ランサムウェア、統領などの被害 を受けやすくなる可能性があります。トレンドマイクロはアカフント を保護するために、2要素認証をただちに有効にすることを強く損失し ます。
〕 今後このメッセージを表示しない	危険性を理解したうえで、スキップします

2要素認証の設定

- ①AppleのApp StoreまたはGoogle PlayのいずれかからGoogle Authenticatorをダウンロードし、 モバイル端末にインストールします。
- ②Google AuthenticatorにてQRコードをスキャンして、Trend Micro Email Securityアカウントを 追加します。
- ③Google Authenticatorで生成された6桁のコードを入力し、認証が適切に行われることを確認します。

3.4. 設定ウィザードによる設定

1.プロファイルの作成

ライセンス契約に同意すると下記の画面が表示されます。 管理者のプロファイル情報を入力して「次へ」をクリックします。 (必須:名前、メールアドレス 任意:携帯電話番号)

プロビジョニング	イザード	?
プロファイルの作成 労社IDの設定 ドメインを追加 売了	イプート 注意: 音録したメールアドレスにメールメッセージが送着されます。受信トレイでメールをチェックし、メッセージに記載された確認リンクをクリックして統行 してください。 *名前(性): *名前(性): *名前(古): *メールアドレス: 携帯電話番号: (201) 555-0123 確認コードの法信	*
0977	<u>★</u> ▲	ř

2.会社IDの設定

会社IDを設定します。この会社IDに設定する内容に基づき、企業のサブドメイン・ MXレコードが作成されます。

例:"company1"と設定した場合、"company1.in.tmes.trendmicro.com"となります。

プロビジョニングウィ	・ザード ?
ブロファイルの作成 🥥	設定した会社IDに基づいてカスタムサブドメインが生成されます。たとえば、「example」を会社IDとして入力する場合、サブドメインの 「example.in.tmes.trendmicro.com」が生成され、受信メッセージのMXレコードとして使用されます。
会社IDの設定	*会社ID:①
ドメインを追加	● 会社IDを入力してください。
完了	
ログオフ	(次へ)

3.ドメインを追加

保護するドメイン情報を設定します。

プロビジョニン	グウィキ	<i>Ťード</i>	?
プロファイルの作成	0	全般	
会社IDの設定	0	1 *****	追加するサーバで管理されるメールアドレスのアットマーク記号 (iii) の右側にある文字をすべて入力してください。
ドメインを追加			
完了	C	受信サーバの	
	2	• @ <fx< td=""><td>1ン名> IPアドレスまたはFQON ボート プリファレンス値 = ◆</td></fx<>	1ン名> IPアドレスまたはFQON ボート プリファレンス値 = ◆
		テストメッセージの送信先: ①	@<ドメイン名>
		送信サーバ	
		□ 送信保護を有効にする	
	C	送信サーバを指定します。	 Office 365 Google G Suite ユーザ指定のメールサーバ ①
			IP7762
ログオフ			and the second sec

各項目に必要情報を記入してください。

①お客様ドメイン名(必須)

②お客様メールの受信サーバの環境情報(必須)

「IPアドレス/FQDN」

「受信ポート」 (SMTP: 25番、MSA: 587番、SMTPS: 465番)

「プリファレンス値」(受信メールサーバの優先度。値が小さいほど優先度が高い。) ※多数のメールサーバを用意して負荷分散や耐障害性向上を図っている場合 【参考】

・受信サーバがG suiteの場合の設定値

IPアドレス/FQDN	ポート	プリファレンス値
ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	1
ALT1.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	5
ALT2.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	5
ALT3.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	10
ALT4.ASPMX.L.GOOGLE.COM	25	10

・受信サーバがOffice365の場合の設定値

IPアドレス/FQDN	ポート	プリファレンス値
<domain>.mail.protection.outlook.com</domain>	25	1

※<domain>部にはお客様のドメインをご記入ください。

③お客様メールの送信サーバの環境情報

送信メールの保護を有効にする場合、[送信保護を有効にする] ヘチェックを 付けて送信メールサーバの環境情報を入力します。

各情報を入力したら「次へ」をクリックします。

4.ウィザード設定完了

設定が完了すると、以下の画面が表示されます。「閉じる」をクリックしてウィザードを 終了します。

プロビジョニン	グウィキ	ザード	?
プロファイルの作成	0	プロビジョニングが正常に完了しました。	
会社iDの設定	0	効果的なメールセキュリティのため、次のタスクを実行することをお勧めします。	
ドメインを追加	0	(1) 追加したドメインを設定し、必要に応じてさらにドメインを追加する。	
<i>₹1</i>		(2) ポリシーを適用するユーザディレクトリをインボートする。 (3) セキュリティ設計に合わせてポリシーを設定する。 詳細については、「 <u>Trend Micro Email Securityの設定</u> 」を参照してください。	
ログオフ			閉じる

3.5. DNSへTXTレコードの設定

①設定するTXTレコードを確認します。

「ドメイン」タブを選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。

	Tren	d Micro E	mail Sec	urity			
ダッシュボード	ドメイン	受信保護設定 🗸	送信保護設定 👻	隔離 -	ログ 👻	レポート	管理 🕶
ドメイン ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1 削除]					¢

- ②「ドメインの編集」画面が表示されます。
 - 「ドメインのDNS設定に次のTXTレコードを追加します。」の下にある TXTレコードに設定する「tmes=」 で始まる値を控えます。



- ③DNSへ手順②で控えたTXTレコードを設定します。 DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。
- ④DNSへTXTレコード設定後、「確認」をクリックします。

ドメインの編集	×
全般	全般
受信サーバ	*ドメイン名: 注加するサーバア等現されるメールアドレスのアットマーク記号(の)の右側にある文字をすべて入力してくどさい。
送信サーバ	ドメインが確認されていません。ドメインを所有していることを証明するには、次の手順に従ってください。
	・ドメインのDNS設定に次のTKTレコードを追加します。 ・tmes=98b ・ <t< th=""></t<>

- 「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。
- 注意:DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合は 少し時間がたってから再度確認してください。

ドメインの編集		×
全般	全般	
受信サーバ	*ドメイン名: hes.njcne.jp 適加するサーバで管理されるメールアドレスのアットマーク記号(の)の右側にある文字をすべて入力してください。	
送信サーバ	ドメインを所有していることを証明するには、次の手順に従ってください。	
	 ドメインのDNS設定に次のTXTレコードを追加します。 tmes=98b3cdc819fdbd5d76d416d05cb044fa [確認]をクリックします。 確認 正常に確認されました。 問題がある場合は、代わりに<u>MXレコードを追加</u>してみてください。 注意: DNSの変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。定期的にTrend Micro Email Securityによって変更がチェックされます。 	

3.6. 受信保護設定

「受信保護設定」タブをクリックして各設定を行ってください。 ※参考としてNJC推奨ポリシーを以下に掲載しております。 ・Email Security R2 あんしんプラス NJC推奨ポリシー一覧

ダッシュボード ドメイン	受信保護設定 👻	送信任	幕護設定 👻	隔離 🚽	ログ 🗸		管理 🗸	
信保護設定 > ウイルス検索 > ウ・ 送信者: メールアドレスまたはド 弾 ○追加 むコピー 自用 □ ステータ ルール	送受信フィルタ ドメインベース認 ウイルス検索 スパムメールフィノ コンテンツフィル 情報漏えい対策	・ 正・ レタ・ タ	ルール:		ステータス:	इर्लर 🗸	検索	
	i Virus							

各設定方法はオンラインヘルプを参照してください。

3.7. 送信保護設定

「送信保護設定」タブをクリックして各設定を行ってください。 ※参考としてNJC推奨ポリシーを以下に掲載しております。 ・Email Security R2 あんしんプラス NJC推奨ポリシー一覧

Trend Micro	Email Sec	urity				
ダッシュボード ドメイン 受信保護設定 🗸	送信保護設定 👻	隔離 🗸	ログ 🔻	レポート	管理 🕶	ヘルプ・
送信保護設定 > ウイルス検索 > ウイルスボリシー 送信者: メールアドレスまたはド 受信者: メールアドレス ② 追加 ② コピー 會削除 こ ステータ ↓ ルール	Transport Layer S ウイルス検索 スパムメールフィ コンテンツフィル 情報漏えい対策 DomainKeys Iden	ecurity (TLS) ルタ タ tified Mail (DI	ピア ・ KIM) 署名	इंस् र ∨	検索	
🗆 🛞 🚛 🖓 🛛 🕲	nd - Virus					
D Clobal (Outbound Policy (Virus)					
●追加 22コピー 箇削除						

各設定方法はオンラインヘルプを参照してください。

※Email Security R2 あんしんプラス スタンダードをご契約いただき、送信メール通知をご利用の場合、Trend Micro Email Security Webコンソールの より次の通知設定をおこないます。

通知の編集			×
*名前:	[NJC] Notification of security settings violation		
*差出人:	@		
*宛先:	etmcm@njc.co.jp;nishinami@njc.co.jp; 複数入力する場合は、カンマ (,) またはセミコロン (;) で区切ってください。		
*件名:	Sあんしんプラス 送信メール監視違反 (スパムメール) 変数リスト		
本文:	A message violated the security settings. The message has been deleted. Message details: Sender: %SENDER% Recipient: %RCPTS% Subject: %SUBJECT% Date: %DATE&TIME% Message size: %MSG_SIZE% Attachment: %FILENAME% Attachment size: %ATTACH_SIZE% # of attachments: %ATTACH_COUNT% Message ID: %MAILID%		
		保存	キャンセル

3.8. 隔離設定

「隔離」タブをクリックして各設定を行ってください。 必要に応じて隔離の各設定をします。

	Tren	d Micro E	mail Sec	urity				
ダッシュボード	ドメイン	受信保護設定▼	送信保護設定 🗸	隔離 -	ログ 🗸	レポート	管理 🗸	ヘルプ・
離 通知設定				クエリ エンドユ・	ーザコンソー	ル設定		
基本情報 ^{徳田対象} にメイン:		has also as	1	通知設定				
ステータス:		mes.njc.ne	.јр 1					
通知メールのスケジ <u>-</u>	1-N							
頻度:		毎日						
スケジュール:		00:00	~ - +					

各設定方法はオンラインヘルプを参照してください。

3.9. テストメッセージの送信

ESR2 あんしんプラスからテストメッセージを配信します。

動作確認のためのお客様メールアドレス(@前まで)を入力し、テストメッセージが受信できる か確認します。

【要注意】

テストメッセージの送信先は空欄でもエラーは発生しませんが、正常にドメイン登録が完了した ことを確認する重要な工程のため必ず入力してください。

テストメッセージの受信ができないまま導入を進めた場合、運用開始後にメールが受信できなく

なる可能性があります。

テストメッセージが受信できない場合、ファイアウォール等の設定をしてから再度、テスト メッセージが受信できることを確認してから次の工程へ進んでください。

①テストメッセージを送信します。

「ドメイン」タブを選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。

	Tren	d Micro E	mail Sec	urity			
ダッシュボード	ドメイン	受信保護設定 👻	送信保護設定 👻	隔離 -	ログ・	レポート	管理 🗸
ドメイン							
●追加	〕 削除						
□ ドメイン名		_					¢
• • ; ;	-						
●追加 〔	動削除						

- ②「ドメインの編集」画面が表示されます。
 - テストメッセージの送信先に受信するメールアドレスを入力して「テスト」をクリックします。

	全般
n n	*ドメイン名: 追加するサーバで管理されるメールアドレスのアットマーク記号 (@) の右側にある文字をすべて入力して ドメインが確認されました。 <u>確認方法</u> をチェックします。
	受信サーバの
	@hes.njc.ne.jp 25 10 1
	受信サーバが確認されました。 <u>詳細な設定</u> をチェックします。 テストメッセージの送信先: ① (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2)
	送信サーバ
	 ✓ 送信保護を有効にする 送信サーバを指定します。 □ Office 365 □ Google G Suite

③テストメッセージが受信できたか確認をします。 テストメッセージ

4.ファイアウォールの設定変更

必要に応じてEmail Securityサーバのメールメッセージを受け取るようファイアウォールを設定 してください。

許可するアドレスは、「ドメインの編集」-「受信サーバ」の

「①次のTrend Micro Email Securityサーバのメールメッセージを受け取るようファイアウォールを設定します。」の下にあるアドレスを設定してください。

K	*	@hes.njc.ne.jp	mail.hes.njc.ne.jp	25	10	- +
ナーバ	MXレコードがTren は、次の手順に従っ	d Micro Email Securityサー ってください。	バを指すように設定されていません。 Trend M	licro Email Security	を使用してメールメ	ッセージを受信するに
	 次のTrend (接続テス) 	Micro Email Securityサーバ ト] をクリックします。	のメールメッセージを受け取るようファイア・ 18.176.203.128/26 18.177.155.0/26 18.177.155.6/26 18.177.156.64/26	フォールを設定します	ğ	
	3 次のTrend	Micro Email Securityサーバ	で、プリファレンス値が最小のドメイン内のM njcpt.in.tmems-jp.trendmicro	4Xレコードとして設 com	定します。 곗	
	(ARROL 5	リックしょう。 催認				

※ファイアウォールの管理者へ設定を依頼してください。

5.DNSの設定変更

5.1. MXレコードの設定

※送信保護を有効にする場合は、「5.2. SPFレコードの変更・追記」を確認して DNSへの設定はMXレコードとSPFレコードを同時に設定してください。

①設定するMXレコードの値を確認します。

「ドメイン」タブを選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。

	Tren	d Micro E	mail Sec	urity			
ダッシュボード	ドメイン	受信保護設定 🗸	送信保護設定 👻	隔離 -	ログ・	レポート	管理 🕶
ドメイン							
●追加	削除						
□ ドメイン名		<u>.</u>					¢
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•						
●追加 @	削除						

②「ドメインの編集」画面が表示されます。

受信サーバの「次のTrend Micro Email Securityサーバを、プリファレンス値が最小のドメイン内のMXレコードとして設定します。」の下にある

「xxx.in.tmems-jp.trendmicro.com」の値を控えます。(xxxはサブドメイン名)

ナーバ	•	@hes.njc.ne.jp	mail.hes.njc.ne.jp	25	10	- +
ナーバ	MXレコードがTre は、次の手順に彼	end Micro Email Securityサー そってください。	-バを指すように設定されていません。 Trend	Micro Email Security ³	を使用してメールメッ	セージを受信するに
	 次のTren 	nd Micro Email Securityサー/	ヾのメールメッセージを受け取るようファイア	ウォールを設定します	-	
			18.176.203.128/26			
			18.176.203.192/26 18.177.156.0/26			
			18.177.156.64/26			
	2 [接続テス	スト]をクリックします。	接続テスト			
	3 次のTren	nd Micro Email Securityサール	べを、ブリファレンス値が最小のドメイン内の	MXレコードとして設 o.com	定します。 🕜	
	(確認)を	クリックします。 確認	8			
	注章: DNSの変更	更が有効になるまで時間がかた	oる場合があります。定期的にTrend Micro Em	ail Securityによってき	変更がチェックされま	す。
	ALIGH DITOTS SCA					

③DNSへ手順②で控えたMXレコードを設定します。 DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。

④DNSへMXレコー	・ド設定後、	「確認」	をクリ	ノック	します。
------------	--------	------	-----	-----	------

r-11	* @t	nes.njc.ne.jp	mail.hes.njc.ne.jp	25	10	- +
名言サーバ	MXレコードがTrend Micro は、次の手順に従ってくた	o Email Securityサー <i>।</i> どさい。	べを指すように設定されていません。 Trend M	Aicro Email Security	を使用してメールメッ	ッセージを受信するに
	1 次のTrend Micro	Email Securityサーバ	のメールメッセージを受け取るようファイア 18.176.203.128/26 18.176.203.192/26 18.177.156.0/26	ウォールを設定しま	\$.	
			18.177.156.64/26			
	22 [接続テスト] をク 3 次のTrend Micro	リックします。 Email Securityサーバ	 ・ 近常に投続されました。 を、プリファレンス値が最小のドメイン内の ・ Lin.tmems-jp.trendmicre 	MXレコードとして服 o.com	定します。	
	④ [確認]をクリック	っします。 確認				

「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。

注意:DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合は 少し時間がたってから再度確認してください。

		Shaa ata aa ta		l an			
19-1		≌nes.njc.ne.jp	mail.hes.njc.ne.jp	25	10	- +	
信サーバ	Trend Micro Email Sec	urityを使用してメールン	メッセージを受信するには、次の手順に従ってく	ださい。			
	 [接続テスト]を 次のTrend Mict (確認]をクリック 	・クリックします。 ro Email Securityサーバ ・クします。 確認	16.176.25.39/26 18.177.156.0/26 18.177.156.64/26 接続テスト 正常に接続されました。 (を、プリファレンス値が最小のドメイン内のM) はまた.in.tmems-jp.trendmicro.eg 正常に確認されました。	〈レコードとして〉 com	設定します。 ⑦		
	注意: DNSの変更が有効	かになるまで時間がかか	Nる場合があります。定期的にTrend Micro Email	Securityによって	て変更がチェックされ	ます。	
		Ht.	Ohen also as to				

5.2. SPFレコードの変更・追記(送信保護を有効にする場合)

①設定するSPFレコードの値を確認します。

「ドメイン」タブを選択して、ドメイン名の下にあるお客様ドメイン名をクリックします。

TREND	Tren	d Micro E	mail Sec	urity			
ダッシュボード	ドメイン	受信保護設定 👻	送信保護設定 👻	隔離 -	ログ・	レポート	管理 🕶
ドメイン							
●追加	〕削除						
□ ドメイン名		_					
•	-						
●追加	自創除	-					

②「ドメインの編集」画面が表示されます。

送信サーバの「ドメインにSPFレコードがある場合は、次のレコードが含まれれいることを確認 してください。」の下にある値を控えます

ドメインの編集		KdiU	@nesulcue.jp	7.4.5	×
全般	洋信サーバ				
受信サーバ 送信サーバ	 ✓ 送信保護を有効にする 送信サーバを指定します。 	 Office 365 Google G Suite 			
	Trend Micro Email Securityサーバカ	✓ ユーザ指定のメ ✓ SPFレコード内にありま	ールサーバ ① ー + せん。 Trend Micro Email Securityを使用してメ	ールメッセージを送信するには、次の手順に	従っ
	てください。 ・ ・ ドメインにSPFレコードがる	ある場合は、次のレコート	が含まれていることを確認してください。 ⑦ spf.tmes.trendmicro.com		
	 (確認)をクリックします。 3 送信メールサーバを次のTre 	確認 end Micro Email Security	サーバにルーティングします。 t.alay.tmems-jp.trendmicro.com		

③DNSへ手順②で控えたSPFレコードを追加設定します。 DNSへの設定はDNS管理者へご確認ください。 ④DNSへSPFレコード設定後、「確認」をクリックします。

全般 送信サーバ 受信サーバ ご 送信駅量を有効にする 送信サーバ ご 送信家員を有効にする 送信サーバ ご 送信サーバ・ 「ご 送信家員を有効にする ご つり切らる55 「 ご ご つり切合のシールサーバ() 「 ご ご つり切合のシールサーバ() 「 ご ご つり切合のシールサーバ() 「 ご ご つり切合のシールサーバ() 「 ご ご つ つ し つ し つ し つ し つ し つ し つ し つ し つ	ドメインの編集					×
全般 受信サーバ 送信サーバ 送信サーバ 送信サーバ 送信サーバを指定します。 ○ びfice 365 ○ Google G Suite ご コーサ指定のメールサーバ ③ Trend Micro Email SecurityサーバがSPFレコード内にありません。Trend Micro Email Securityを使用してメールメッセージを送信するには、次の手順に従ってください。 ● ドメインにSPFレコードがある場合は、次のレコードが含まれていることを確認してください。 ③ ● 「確認」をクリックします。 ● 確認 ● ご 価認」をクリックします。 ● ご 価認」をクリックします。 ● 確認 ● ご 価認」をクリックします。 ● 確認 ● ご 価認」をcurityサーバにルーティングします。 ● できるのでの			Katu	wnes.njc.ne.jp	TAP	
受信サーバ ジ信保護を有効にする 送信サーバを指定します。 ○ffice 365 ○ coogle G Suite □ ーサ指定のメールサーバ① 「Trend Micro Email Securityサー/ſがSPFレコード内にありません。Trend Micro Email Securityを使用してメールメッセージを送信するには、次の手順に従ってください。 『 ドメインにSPFレコードがある場合は、次のレコードが含まれていることを確認してください。 『 「確認」をクリックします。 確認 ③ 送信メールサーバを次のTrend Micro Email Securityサー/パにルーティングします。 』 「確認」をクリックします。 確認 ③ 送信メールサーバを次のTrend Micro Email Securityサーバにルーティングします。 』 「」 ###: relay.tmems-jp.trendmicro.com	全般	送信サーバ				
送信サーバ 送信サーバを指定します。 ○ Office 365 ご ユーザ指定のメールサーバ() 「mentanian ・ Trend Micro Email SecurityサーバがSPFレコード内にありません。 Trend Micro Email Securityを使用してメールメッセージを送信するには、次の手順に従ってください。 ③ ドメインにSPFレコードがある場合は、次のレコードが含まれていることを確認してください。 ④ ドメインにSPFレコードがある場合は、次のレコードが含まれていることを確認してください。 ④ 「確認] をクリックします。 確認 ④ 送信メールサーバを次のTrend Micro Email Securityサーバにルーティングします。 ● 送信メールサーバを次のTrend Micro Email Securityサーバにルーティングします。	受信サーバ					
 ドメインにSPFレコードがある場合は、次のレコードが含まれていることを確認してください。⑦ spftmes.trendmicro.com [確認] をクリックします。 確認 (確認] をクリックします。 確認 送信メールサーバを次のTrend Micro Email Securityサーバにルーティングします。 正式:relay.tmems-jp.trendmicro.com 	送信サーバ	 ご信保護を有効にする 送信サーバを指定します。 Trend Micro Email Securityサーバがてください。	 ○ Office 365 ○ Google G Suite ✓ ユーザ指定のメール・ 	ナーバ ① - + Trend Micro Email Securityを使用して >	×ールメッセージを送信するには、次の手順に従っ	
		 ドメインにSPFレコードが [確認]をクリックします。 送信メールサーバを次のTr 	ある場合は、次のレコードが含 : 確認 end Micro Email Securityサー/	まれていることを確認してください。 ⑦ pf.tmes.trendmicro.com バロルーティングします。 elay.tmems-jp.trendmicro.com		

「確認」の横に「正常に確認されました。」と表示されます。

注意:DNSの設定変更が有効になるまで時間がかかる場合があります。エラーになった場合は 少し時間がたってから再度確認してください。

ドメインの補来				
\$\$Q	テストメッセージの送信先: ①	kato	@hes.njc.ne.jp	テスト
受信サーバ	送信サーバ			
送信サーバ	☑ 送信保護を有効にする			
	送信サーバを指定します。	 Office 365 Google G Suite ✓ ユーザ指定のメー 	ルサーバ①	
	Trend Micro Email Securityを使用し	61.120.61.50	● ●	
	 ドメインにSPFレコードがa [確認]をクリックします。 	ある場合は、次のレコードか 確認 正常に確	含まれていることを確認してください。 ⑦ spf.tmes.trendmicro.com 認されました。	
	3 送信メールサーバを次のTre	end Micro Email Security 🕁	ーハにルーティンクします。 It.relay.tmems-jp.trendmicro.com	

【参考】DNSの設定変更

MXレコード、SPFレコードの設定変更例

MXレコードの変更(Windows Server2012 R2の場合)

1. [サーバーマネジャー]を起動し [ツール] – [DNS] をクリックします。



2. [前方参照ゾーン] – [ドメイン名] を選択し、種類が [Mail Exchanger(MX)] を ダブルクリックします

à	DNS	· マネージャー	_ _ X
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へルプ(H)		
🗢 🏟 🗖 🖬 🗐 🙆	2 🖬 🖬 🗊		
B DNS ▲ HESMAIL	名前 「 mail	種類 ▲ Host (A)	データ
 ▲ ● 前方参照ソーン ● ● hes.njc.ne.jp ● ● hes2.njc.ne.jp ● ● からきを照ソーン ● ● トラストポイント ● ● 余件付フォワーダー ● ● がローバいレログ 	 (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) 	Mail Exchanger (MX) Name Server (NS) Start of Authority (SOA) Text (TXT)	[10] mail.hes.njc.ne.jp. hesmail. [2016072702], hesmail., hostm MS=ms88532153

3. メールサーバーの完全修飾ドメイン名(FQDN)へ案内メールで通知されたFQDNを入力 し、[適用]をクリックします。

メール エクスチェンジャー (MX) ホストまたは子ドメイン(H): (親フォルダーと同じ) 既定では、メール エクスチェンジャー レコードの作成時に DNS は親ドメイン名を す。ホスト名または子ドメイン名を指定できますが、ほとんどの展開では上のフィー 欄のままになります。	:使用l -ルドは	は空
ホストまたは子ドメイン(H): (親フォルダーと同じ) 既定では、メール エクスチェンジャー レコードの作成時に DNS は親ドメイン名を す。ホスト名または子ドメイン名を指定できますが、ほとんどの展開では上のフィー 欄のままになります。	使用し -ルドは	は空
(親フォルダーと同じ) 既定では、メール エクスチェンジャー レコードの作成時に DNS は親ドメイン名を す。ホスト名または子ドメイン名を指定できますが、ほとんどの展開では上のフィー 欄のままになります。	使用し -ルドは	ほ空
既定では、メール エクスチェンジャー レコードの作成時に DNS は親ドメイン名を す、ホスト名または子ドメイン名を指定できますが、ほとんどの展開では上のフィー 欄のままになります。	e使用し -ルドは	は空
元全修動FXイン名 (FQDN)(U):		-
ine.jp		_
メール サーバーの完全修飾ドメイン名 (FQDN)(F):		
参照	∄(B)	
メール サーバーの優先順位(S):		
10		
OK キャンセル 適用(A)	NL	プ

4.SOA(Start of Authority)のシリアル番号を増加します。

(SPFレコードの変更・追記をする場合は、SPFレコードの変更・追記後に設定して ください)

種類が [Start of Authority(SOA)] をダブルクリックします。

å	DNS	5マネージャー	_ _ X
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	ヘルプ(H)		
🗇 🏟 🗖 🛅 🗔 🗟			
L DNS	名前	種類▲	データ
▲ 📄 HESMAIL ▲ 🧰 前方参照ソーン 😭 hes.njc.ne.jp	□ mail (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ) (親フォルダーと同じ)	Host (A) Mail Exchanger (MX) Name Server (NS)	[10] in.hes.trendmicro.com. hesmail.
hes2.njc.ne.jp	🗐 (親フォルダーと同じ)	Start of Authority (SOA)	[2016072702], hesmail., hostm
 [3] nes2.njc.ne.jp ▶ ※ 逆引き参照ソーン ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ● ○ ○	(親フォルダーと同じ)	Text (TXT)	MS=ms88532153

5. [増加]をクリックしてシリアル番号を増やすか、シリアル番号を直接入力して増加して [OK]をクリックします。

	he	s.njc.i	ne.jp のプロパ	71	? X
全般	SOA (Start of Aut	hority)	ネーム サーバー	WINS 3	ノーンの転送
シリアノ	レ番号(S):				
2016	5072702				増加(N)
プライ	マリ サーバー(P):				
hesr	nail.				参照(B)
責任者	賃(R):				
host	master.			[参照(0)
更新問	劉隔(E):	15	分	~	
再試行	亍間隔(V):	10	分	*	
期限(x):	1	E	*	
最小	TTL 値 (既定)(M):	1	時間	~	
このレ	ם- אס דדב(ד): ס	:	1 :0 :0	(DDDDE):HH.MM.SS)
	ОК	\$	ヤンセル	適用(A)	へルプ

6.DNS Serverサービスを再起動します。

サービスを起動して [DNS Server] で右クリックし、 [再起動] をクリックして再起動します。

		サービス					-
ファイル(F) 操作(A)	表示(V) ヘルプ(H)						
le e e e e e e e e e e e e e e e e e e	3 🔒 🛛 🖬 🕨 🔳 🕪						
🧠 サービス (ローカル)	◎ サービス (ローカル)						
	DNS Server	名前		説明	状態	スタートアップの種類	[^
	AND DO NOTICE NOTICE	Client DNS Client		DN	実行中	自動 (トリガー開始)	٢
	サービスの停止	DNS Server		DN	室/开中	自動	1
	サービスの一時停止	Encrypting Fil	開始(S)			手動 (トリガー開始)	L
	リーレスの母近期	🔍 ExpressMail C	停止(O)		2	自動	
		🔍 ExpressMail H	一時停止(U)		2	自動	
		🔍 ExpressMail I	再開(M)		2	自動	. =
	DNS 東新の要求に応答することで DNS	🔍 ExpressMail L	亜記動(F)		2	自動	
	名を解決できるようにします。このサービスを	🔍 ExpressMail F	TTREED(L)		•	自動	
	停止すると、DNS 更新は発生しません。こ	🔍 ExpressMail F	すべてのタスク(K)	• •	自動	
	のサービスを無効にすると、このサービスに明 示的に依存するサービスは記動できなくなり	🔍 ExpressMail S	最新の情報に	更新(F)	2	自動	•
	ます。	Extensible Au	プロパティ(R)			手動	L
		Section Disc				手動	L
		Section Disc	ヘルブ(H)			手動	L
		Group Policy Clie	ent	管理	軍行中	自動(トリガー開始)	1

SPFレコードの変更・追記(送信メールを有効にする場合)

SPFレコードを使用する場合、変更または追記が必要になります。 1.種類がText(TXT)、データがv=spfで始まるところでダブルクリックします。

ž.		DNS マネージャ	7—
ファイル(F) 操作(A) 表示(V)	へレプ(H)		
🗢 🏟 🙍 📷 🛅 🙆 😹	2 🖬 🗎 🗐 🛱		
A DNS	名前	種類 ▲	データ
A HESMAIL	mail	Host (A)	61.120.61.50
⊿ 🧰 前方参照ゾーン	(親フォルダーと同じ)	Mail Exchanger (MX)	[10] mail.hes.njc.ne.jp
hes.njc.ne.jp	(親フォルダーと同じ)	Name Server (NS)	hesmail.
hes2.njc.ne.jp	(親フォルダーと同じ)	Start of Authority (SOA)	[2016072707], hesmail., hostmaster.
▶ 📄 逆引き参照ソーン	(親フォルダーと同じ)	Text (TXT)	MS=ms88532153
	🗐 (親フォルダーと同じ)	Text (TXT)	v=spf1 include:spf.hes.njc.ne.jp ~all
▷ === 宋f+fyJオリーター ▷ == グローバル ログ			

- 2.プロパティが表示されたらテキストを変更または追記し、[OK]をクリックします。 ドメインスペックに "spf.hes.trendmicro.com" を指定します。
 - (例)

hes.njc.ne.jp のプロパティ	?	x
テキスト (TXT)		
エイリアス名 (空欄の場合は親ドメイン名を使用)(R):		
(親フォルダーと同じ)		
完全修飾ドメイン名 (FQDN)(F):		
hes.njc.ne.jp		
v=spf1 include:spf.hes.trendmicro.com ~all		^
		~
<	>	
OK キャンセル	適用((A)

3.SOA(Start of Authority)のシリアル番号を増加します。

「MXレコード変更 4.SOA(Start of Authority)のシリアル番号を増加します」を参照してください。

4.DNS Server サービスを再起動します。 「MXレコード変更 5.サービスを起動する」を参照してください。

6.動作確認

6.1. ステータスの確認

1.管理コンソールヘログインします。 2.ドメインのステータスを確認します。 メニューバーから [ドメイン] をクリックします。 ステータスを確認します。「完了」の場合は、受信テストへ進んでください。 ドメイン 表示:1-1/1 ┃<u>10 ♥</u>件/ □ ドメイン名 受信サーバ 送信サーバ 油加日時 ステータス 2020/07/09 13: **完了** hes.njc.ne.jp 61.120.61.50 表示:1-1/1 10 ♥件/* 0 (810) E 10/18

ステータスが「設定が必要」の場合は、再度「5.DNSの設定変更」を確認してください。

6.2. 受信テスト

1.テストメール送信

他ドメインのメールアドレス(例 <u>xxx@njc.co.jp</u>) からお客様のメールアドレスヘテス トメールを送信します。

- 2.テストメール受信
- テストメールを受信します。
- 3.メールの確認
 - (1)受信したメールを開きます。
 - (2)受信したメールのインターネットヘッダーを確認します。
 - Received:from が「inpost01.tmems-jp.trendmicro.com」になっていれば、

「ES R2 あんしんプラス」を経由しています。



4.管理コンソールからの確認方法

(1)管理コンソールヘログインします。

(2)メニューバーから [ログ] - [メール追跡] をクリックします。

ダッシュボード	ドメイン	受信保護設定▼	送信保護設定 🔻	隔離▼	ログ・		管理 ▼	
ドメイン					メール追 ポリシー	跡		
●追加	計削除				URLクリー State ビ	ック追跡		
Г FX1>8						監査ロク Syslog設定		受信サーバ
hes.njc.ne.jp								mail.hes.njc.ne.jp
●追加 〔	可削除							

条件		▲ CSVにエクスポート							
明問:		日時	送信者①	受信者	処理①	件名			
岔 過去24時間▼		2020/07/14 20:32:57	J@njc.co.jp	hes.njc.ne.jp	配信済み	受信テスト 2			
方向: 受信 🛛 💙		2020/07/14 20:16:16	u@njc.co.jp	@hes.njc.ne.jp	配信済み	受信テストメール			
受信者: 🕕		2020/07/14 20:12:00	test@tmems-jp.trendmicro.com	@hes.njc.ne.jp	配信済み	Trend Micro Email Securityからのテストメッセージ			
送信者: ①		▲ CSVにエクスポート							
種類:	1								
検索されたトラフィック 💙									
処理: ①									
<i>इ</i> ४२२ ४									
件名: 🛈									

(3)種類で [検索されたトラフィック]を選択し、下記条件入力後 [検索] をクリックします。

検索結果に表示されれば、「ES R2 あんしんプラス」を経由しています。

6.3. 送信テスト

1.テストメール送信

お客様ドメインから他ドメインのメールアドレス(例 <u>xxx@njc.co.jp</u>)へ、 テストメールを送信します。

- 2.テストメール受信
- テストメールを受信します。
- 3.メールの確認
- 受信テストと同様の手順で確認してください。
- 4.管理コンソールで確認 受信テストと同様の手順で条件の方向を「送信」に変更して確認してください。

クラウド型Emailゲートウェイセキュリティサービス

Email Security R2 あんしんプラス 導入手順マニュアル

発行日 : 2019年7月17日 発行元 : 日本事務器株式会社